

# 『学会部門』の新設に関するお知らせ

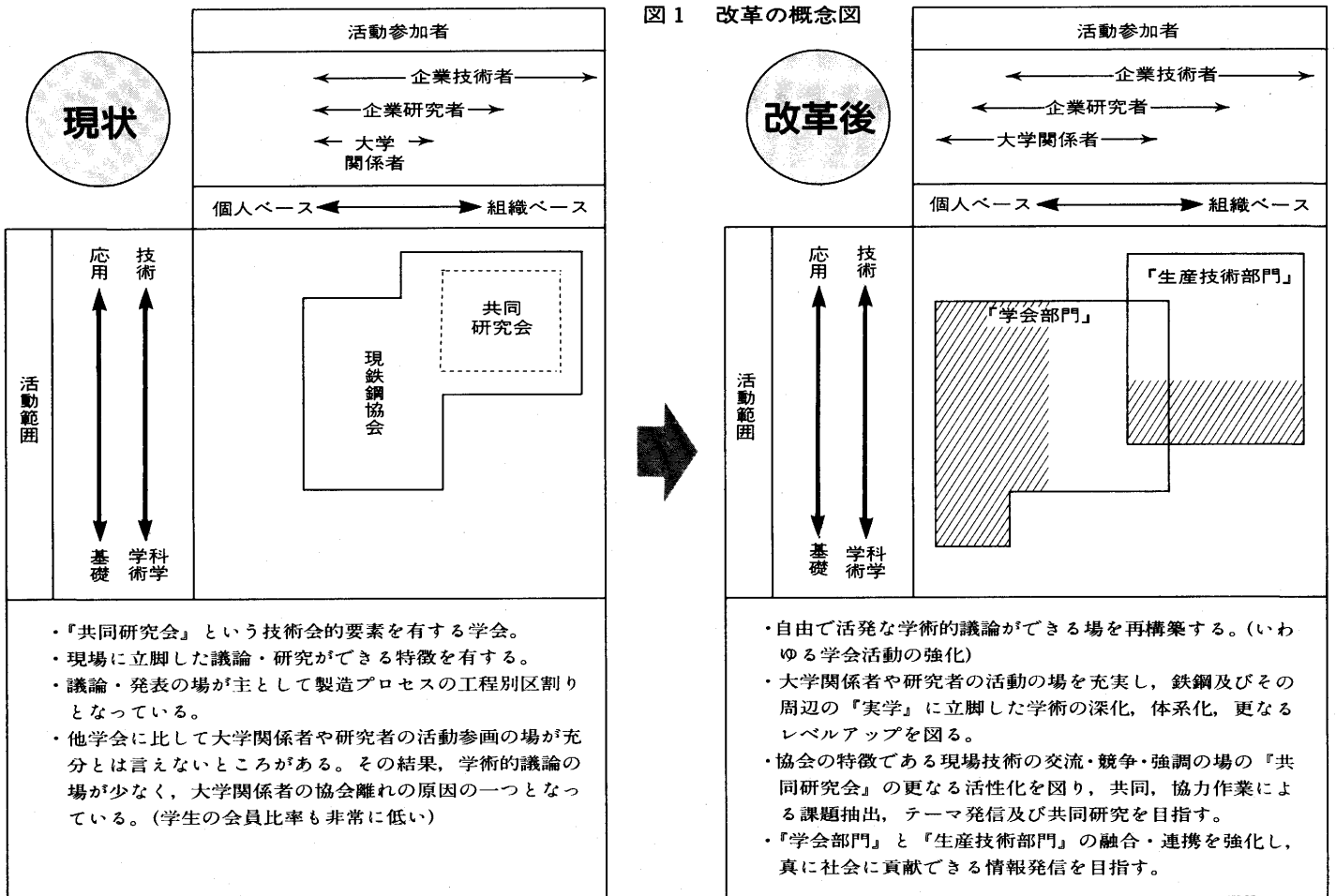
—会員に直接関連する事項を中心にして—

学術準備小委員会委員長 馬越佑吉

日本鉄鋼協会は、時代の変化に対応するため、ここ数年来各種の改革、改善に取り組んできました。その基本的な方向付けは昨年の理事会で承認され、会員の皆様には『鉄と鋼』(Vol.79, No.12, N804~815)に『長期展望検討小委員会検討結果報告』として掲載し、お知らせしました。平成7年4月の新組織発足に向けて、本年度は各種準備を鋭意進めています。来年度の会員の学術・技術活動に直接関連する『学会部門』について、中間段階ではありますが会員の皆様のご理解とご協力を得るために概要をお知らせします。なお、協会全体および他部門の改革については、今後順次お知らせする予定です。

## 1. 協会改革の目指す方向

『鉄と鋼』Vol.79, No.12, N806頁に今回の改革のポイントが記載されています。これを概念図としてまとめたものが図1です。従来の活動から、図のハッチング部門を強化する方向としています。



## 2. 協会組織の改革

従来の協会の組織は総会、理事会のもとに各種委員会等がすべて並立していました。平成7年4月からは、『協会全体の企画・運営を行う部門』、個人会員が主体的に活動する『学会部門』、企業間の技術交流・研究活動を主に行う『生産技術部門』の3部門に組織を大別し、各部門内に各種委員会等が設置されます。新旧の概略組織表を対比すると図2のようになります。今回のお知らせは、点線枠内の『学会部門』を中心にします。

『学会部門』は、機関誌の発行、講演大会の実施、自主的な研究および研究交流活動を中心とする部門です。今回の改革で特徴的な点は、研究および研究交流活動を行う場として、専門分野別部会を設置し、各分野毎の研究者・技術者が討論・交流・研究しやすい体制を整えたことです。新たに平成7年4月に、5つの部会が発足し、図3に示す組織と機能を持ちます。

設置の目的は、鉄鋼に関連する学術・技術領域が拡大するとともに、専門別に高度化している現状に対応して、分野毎の研究者・技術者が集まり、最新情報の交換・討論、研究が行える場を提供し、かつ、その活動の中から独創的な研究の果実を発信できるような体制を整備することにあります。高度化した社会の要請に迅速・的確に対応しうる活動が期待されます。

会員は、希望する部会(3部会以内)に登録することによりこれらの活動に参画できます。

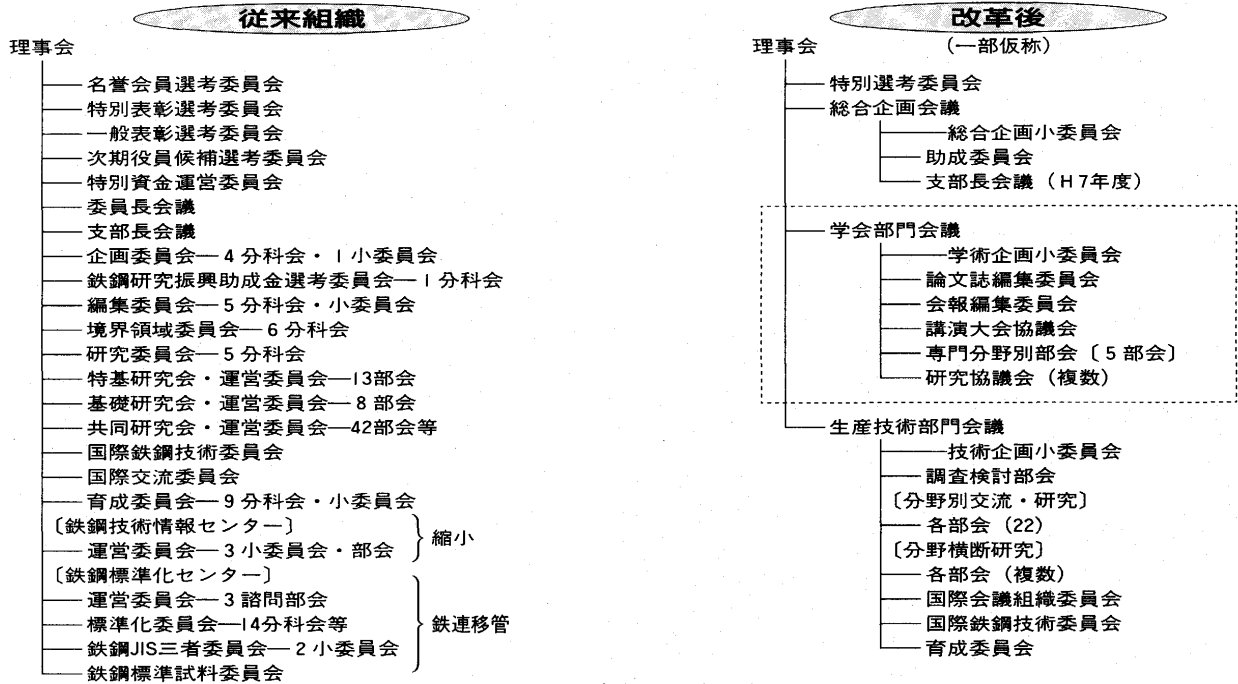


図2 協会組織の改革

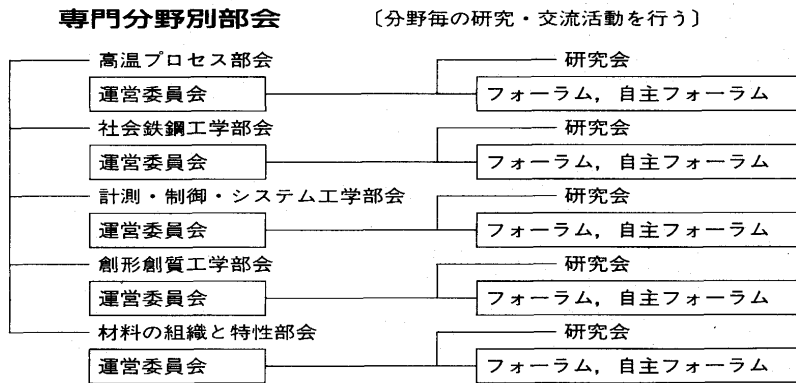


図3 専門分野別部会の組織と機能

3. 運営面の改善

会員の皆様に直接関連する運営面の改革には以下の諸点があります。

(1) 論文誌・会報の刷新

現在、鉄鋼協会では和文論文誌と会報的要素を併せ持つ『鉄と鋼』と、欧文論文誌である『ISIJ International』を発行しています。鉄鋼メーカーに勤務する会員にアンケート調査した結果では、現在の形態の論文誌・会報を改善してほしいという要望がかなりありました。また、内容的にも現場技術報告や解説・啓蒙記事、一つの分野の特集号等の希望が多く寄せられました。この観点から、種々検討した結果、和文誌は論文誌(『鉄と鋼』の名称を継続)と会報(名称は未定)に分離することにいたしました。(平成8年1月からの予定)なお、『ISIJ International』はそのまま存続します。投稿された論文は、和文、欧文を問わず論文誌編集委員会で同列に審査・編集されます。

論文誌を独立させることにより更なるレベルアップを図り、また、会報は会員読者の要望に応えた斬新な企画を盛り込んだものにする予定です。会報分離後は、会員には原則として会報が送付されます。

(2) 講演大会の運営

協会の講演大会は、会員の成果発表、情報交換、人的交流および若手育成の場として高く評価されていますが、その運営にはいくつかの問題点があるのも事実です。この点に関しても検討を加え、平成7年度から運営を変える予定です。主な変更点は以下のとおりです。

- ① 春の講演大会は従来どおり協会全体の行事として行います。秋の講演大会は、新設される専門分野別部会毎にその特色を活かした運営を目指します。(討論会、特定テーマ発表等)
- ② 従来、講演大会への参加費は徴収していませんでしたが、個人会員の権利を擁護するため平成7年度から参加費を徴収いたします。詳細については本号掲載「講演大会参加費徴収と『材料とプロセス』予約金額変更のお知らせ」を参照してください。
- ③ 講演論文集『材料とプロセス』も専門分野別部会毎の編集になります。したがって、各分冊の構成が変わりますので、平成7年度の年間予約時には充分留意してください。
- ④ 『材料とプロセス』の配布は工業所有権の基準日を考慮して講演大会当日となります。

(3) 専門分野別部会の新設

図3及びその説明のとおりです。詳細な各部会の運営方法は現在検討中です。部会への登録方法は、本号掲載「専門分野別部会登録のお知らせ」を参照してください。

以上、『学会部門』の新設に伴い、会員の皆様に直接関連する事項を中心にお知らせしました。会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。